

# 中田かわら版 5月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

## ■この人に会いたい<59>



トランペット人生をボランティアで歩む

## 木村 栄さん (68) 山百合自治会

木村さんとの初対面は中下・山百合自治会館だった。第5公園の一角にあり、民家には迷惑のかからない環境である。トランペットの甲高い音は練習には肩身が狭い。でも、ここは安全地帯。しかも日曜日の午前中が、忌憚なく練習ができる貴重は時間であり、場所なのだ。インタビューの前にぜひ練習風景の写真を撮りたいとの、ご

無理なお願いに快く受け入れてくれた、心優しい木村さんに感謝である。

木村さんのすごいところは趣味を超え仲間とバンドで高齢者施設を訪ねボランティアで演奏活動をやっていることである。北鎌倉を拠点に、ふた月に1回の訪問だが、その際誕生会やクリスマスなどに合わせて演奏している。バンド編成はウクレレ、ギター、ハーモニカ、トランペット、マラカスなど。バンド名は\*「シー・ブリーズ・ユイ」。由比が浜の由比からつけている。その前はウクレレ中心のハワイアンで、今はカントリー、ポップスなど加え演目も多彩になった。エーデル・ワイス、聖者の行進、80日間世界一周、早春賦、知床旅情、浜辺の歌、幸せなら手をたたこうなど名曲がずらり。

もう一方で、木村さんら4人は\*「KSGG」(神奈川・システムダイズド・グッドウイール・ガイドクラブ)という観光ガイドボランティアでも活躍している。当クラブ設立30周年記念で作られたデザインマークは、因みに木村さんの作品である。

「あれだけ皆さんから喜ばれるなら」と、メンバーはそれに答えるためにも日々、めいめいが練習に励んでいる。木村さんの練習時間は午前9時から正午を挟んで午後1時くらいまで。譜面台の周りには椅子が4脚と、その上に2本目のトランペットやハーモニカなどが置かれている。部屋の長机にはトランペットの入った楽器ケースやハーモニカ、楽譜類。それにペットボトルと缶コーヒーが置かれている。たっぷり4時間の練習には必需品なのだろう。改めて納得。

「木村さんにとってトランペットとは」。即答で「そう、生活の一部でしょう。心が癒される最高の楽器です」。スタートは中学校の吹奏楽部から始めて高校、大学と一貫してトランペッター一筋。大学では約20人のメンバーとともに「ニュー・オレンジ・スウィング・オーケストラ」というバンドに加わっていた。社会人になってからはアマチュアの「戸塚区民オーケストラ」でしばらく在籍後、平成25年に退団し、4～5年前から「シー・ブリーズ・ユイ」に参加、今日に至っている。写真のようにトランペットを吹いている木村さんの容姿は若々しい。「トランペットは口から空気を吸ったり吐いたり、その感覚が微妙で難しい。気分のいいとき、緊張しているとき、出る音が全然違う。それを吹きながらいい音へチャレンジできるのが、この楽器の良さであり、私にあっている」。これからのますますのご活躍を期待したい。

\*「シー・ブリーズ・ユイ」(Sea Breeze Yui) 2005年に「KSGG」クラブのウクレレ同好会として設立された。

\* [KSGG] (Kanagawa Systematized Goodwill Guide club)

(宮田貞夫)



～一人ひとりがCO<sub>2</sub>を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～



このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

## 頭脳ストレッチ

1		2	3	4		5
		6			7	
8	9				10	11
12				13		
	14		15		16	
17			18	19		
		20				

A
B
C
D
E
F
G



# クロスワードパズル

作：宮田貞夫

◎タテ、ヨコのカギを解き、アルファベットのA～Gの順に並べると答えが出ます。

### <タテのカギ>

- 1 翡翠。鳥の名前です
- 2 花嫁が文金島田の髪を飾る白い布
- 3 裁判で□□□の判決
- 4 ライラック。別名□□
- 7 石楠花。「木の女王とも呼ばれる」
- 9 江戸時代、薬などを入れ携帯した小箱  
テレビの水戸黄門でお馴染み
- 11 これで首が回りません
- 15 兵庫県の市。「忠臣蔵」で有名
- 17 筋肉が固まること。「肩が□□」
- 19 「浮子」って何のこと？

### <ヨコのカギ>

- 1 蝸牛。軟体の陸生貝
- 5 調味料
- 6 松尾芭蕉著『□□□□紀行』
- 8 政治に携わる人の社会、政治家の世界
- 10 島崎藤村作詞、大中寅二作曲「□□の実」
- 12 食肉目イタチ科の小獣
- 13 元SMAPのメンバー、俳優で活躍。木村□□□
- 14 詩人プーシュキンの生まれた国
- 16 樋口一葉の幼少時代の名前 □□
- 17 「瞼の母」の作者、長谷川 伸の生母  
横山□□（実家・鎌倉郡和泉村、文久2年生）
- 18 進んで敵を攻め討つこと
- 20 雑誌などの最後に書く「編集□□」（漢字2文字）

■ 今回はコロナウイルスで「3密、自粛で何かと不自由な毎日を過ごされているのでは」と、私製クロスワードパズルを作ってみました。退屈のぎに挑戦してみてください。国語辞典や泉区郷土誌などで調べるのもいいかもしれません。ついでに横山さんが三谷宗兵衛氏に嫁ぎ、その5人の子供たちの肩書き、経歴がとにかくすごい。昔、泉区にこんな素晴らしい女性がいたことを知ってほしいと思います。

### 編集後記

江戸住み 二階の窓や 鯉のぼり

小林一茶（江戸後期の俳人）

現在でも都会のアパートの窓から小型の鯉のぼりを見かけることがある。江戸も現在も庶民の感覚は同じと言える▼「3密」の影響で編集会議が開かれな状況の中での編集作業が続く。コーヒーを飲みながらアレコレ紙面づくりのひとときが懐かしい。テレワークでメールやFAXが威力を発揮している。

（宮田貞夫）

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。[www.odoriba-cp.jp](http://www.odoriba-cp.jp)へアクセス！！